

このままでいいのか 元ワールドプレイヤー日本

ー日本再生のための提言ー

「序」 今日までに、日本は戦前は軍事面で、戦後は経済面で、世界に輝いていたワールドプレイヤーでありました。戦争に負けたが故に、東京裁判により我が国の歴史を全否定され、占領政策の延長線上の精神構造の上に、政府も国民も安住してしまっていて、誇りを失い、経済も安全保障もアメリカ頼みになってしまっているのが現状です。ワールドプレイヤーの時代を生きた者として、このままでいいのか どうすればよいかを考えます。

1. ある日悪い夢を観て眠れなくなった、それは2020年頃の日本の姿だった

(1) 周辺情勢

ロシアは四島を含む千島全島領有を明言し、経済投資の上に、軍事基地も設置
中国は覇権大国となり、台湾・沖縄領有 東シナ海の内海化 ガス田は当然領有
朝鮮半島は統一され中国の朝貢国 竹島・対馬領有 日本海は東海 拉致問題消滅
この情勢下、アメリカはグアムへ撤退し、対中国重視 南北アメリカの結束強化に注力中

(2) 国内

国家破産防止の増税から景気悪化と世界恐慌で沈没 憲法改正失敗ー海外派兵違憲
産業不振（もの作り技術レベル低下）で外貨不足・原油高・円安・インフレ・貧困層増・
社会保障の切り下げで高齢者減少・1500兆円資産雲散霧消・人口減少・汚職蔓延る
昭和30年代の生活レベルに落ちるが、過去のインフラと情報化で幾分ましな国民生活
日米安保解消・防衛省・自衛隊解散・兵役・受験戦争なし、浪費不能で食料・エネルギー自
給率向上・ごみ大幅減、車は軽、趣味はごろ寝・テレビ・読書・散歩 ゴルフは外人が主
天然記念物的天皇制(世界遺産)と米・中・ロのパワーバランス下で存在容認

ブータンはGNHの世界一を目指す ヒマラヤ山中なら許されるが日本は地政学上無理

2、今世界は

(1) 戦争は世界に広がる

冷戦の終結でソ連のかつての締め付けの解放から周辺で民族問題続発

パレスチナ戦争の平和合意は極めて困難

アルカイダ・タリバン・イスラム原理主義の勃興とその反米主義は拡大する

9.11以来のテロと其の撲滅作戦と再報復の悪循環

各国の真意は、錦の御旗とは別の資源・エネルギー獲得

(2) 戦争の変質 犠牲者は非戦闘員と一般市民が主となる

ゲリラ戦はまだ戦闘員同士の戦いで 一般市民は巻き添えを食っただけだった
今のテロは始めから一般市民が標的 さらに核戦争は文明の破壊・原始生活に戻らず

(3) これらの問題の調整役であるべき国連は無力である

戦勝国連合・核保有国連合である常任理事国の核保有のままの核不拡散に道理なし
兵器開発は主権国の権利であり、イラン・北朝鮮など核保有国増加

(4) 超大国アメリカと世界のブロック化

世界の警察官として勝手な行動を取ったブッシュ政権

百年に一度の世界大不況発生国の責任-政策転換 オバマ政権は

対立軸となるかE U-そしてアジアは・・・これが課題

(5) 世界を動かす三つの底流

①エネルギーを求めて動く世界の歴史

原始のエネルギー源は人間 文明の進歩と共に、森の木材から石炭を経て石油
今の文明は石油の上に築かれている

②二千年来の流れを人工的に変えたユダヤ人のイスラエル建国

AD135 から始まるディアスポーラ 世界中で迫害 ポグロムからホロコーストへ
イギリスの二枚舌・三枚舌によりシオンの丘への復帰を果たすが、アラブは総反撃
アメリカにはイスラエル国内と同数のユダヤ人が在住 上流の比率が高く政策影響力大

③変わる世界の戦争観

戦争は外交努力の限界以後に行使できる主権国の権利

ロマンチックな騎士道・武士道時代を経て、第一次世界大戦から総力戦となる

戦時国際法でルール作るが、残虐行為は残る テロとなれば標的は始めから一般市民

文明は進み高度化し、非戦の風潮は高まるが 戦争が亡くなる日は来ない

グルジア戦争 イスラエルのガザ攻撃

3、正しい歴史認識のための温故知新 東亜の盟主として欧米列強と戦って敗れた戦前の日本

(1) 東洋と日本の近現代

1840 アヘン戦争 英の香港租借が列強の満州族支配の清帝国蚕食の始まり

1853 太平の眠りを覚ます上喜撰 たった四杯で夜も眠れず ペリー来航

1863 馬関戦争 薩英戦争 鎖国から開国 倒幕戦争 1867

1868 明治政府誕生 1895 日清 1905 日露戦争 日本は**植民地化の防止達成**

アジア植民地の独立の志士たちに大きな希望を与える 劣等人種意識の払拭

岡倉天心 鎖国時代茶の湯文化などで平和な暮らしの日本を野蛮国と言い、満州の大殺戮の勝利で文明国

1921 ワシントン体制 (シナ大陸の無政府状態解消まで 列強の東亜に於ける縄張り凍結)

日本の列強入り 対 アメリカの西進政策

1932 五族共和・王道楽土・徳治国家を目指す満州建国・・・**実情は日本の植民地に変質**

1937 盧溝橋事件から日中戦争 さらに太平洋戦争で戦い完敗

戦後 **アジアの植民地続々と独立**

(2) アジアの盟主として戦った日本は、亡国への道が準備された

玉碎・特攻などの悪魔的な闘いに驚いた列強は、**精神的民族浄化**を行った

極東軍事法廷は**東京裁判史観**作りのショーで、「日本だけが悪玉」の徹底教育と宣伝の場

事後法・戦時国際法違反・弁護側証言不採用 「検閲」で批判の徹底封じ込め

歴史・文化・伝統・誇りを失せられ、アイデンティティを確立できない民族に墮す

うしろ向きの平和主義 周辺国の顔色うかがい…占領統治の大成功

教育勅語の廃止 下記の生活規範を教えなくなった一個人主義の取り違え 一霸気喪失

父母に孝に 兄弟に友に 夫婦相和し 朋友相信じ 恭儉己を持し 博愛衆に及ぼし

進んで公益を広め世務を開き 国憲を重んじ国法に従い 一旦緩急あれば義勇公に奉ず

(3) 戦後の日本は理想を希求させられたが、周辺国は侵略で答えた

憲法9条 国家間紛争の最終的解決手段たる一切の武力行使は永久に放棄する

朝鮮戦争から占領統治の転換 再軍備 自衛隊 GDPの1%の軍備

日米安保の傘の下のラッキーな条件が重なり平穏無事だった60年間 経済大国に邁進

2020の悪夢の主役国はこの間内部整備に追われていた

冷戦の敗北でソ連崩壊から国家再建のロシア 国共内戦から紅衛兵の混乱整備の中国

再び日本海の波高し 北方四島・竹島・尖閣列島・拉致問題

4、主体性ある独立国日本の再建 今の日本は占領統治下の卑屈と甘えがある

(1) 正しい歴史認識から来る民族の誇りの再構築する必要性

東京裁判史観の呪縛からの解放

日本とアメリカは歴史の流れで戦ったのだ

モンロー宣言でヨーロッパの西進を止めさせ 自らの西進政策を進めたアメリカ

極東の新興国日本と衝突 大東亜戦争：太平洋戦争

戦後数年間の占領時代とそれに続く左翼の平和宣伝時代に確立された教条的平和主義

その後の秘密文書公開の新情報を受け入れない体質 マスコミの主流と進歩的知識人

「日本は被害者」は言い過ぎとしても、村山談話には「列強に習い」の文言欠落

これ等の検証は 祖国のため命を捧げた英霊への慰霊と近隣諸国の歴史認識の一助となる

(2) しかし**被爆国のアイデンティティは堅持**しなければならない

「ヒロシマ・ナガサキはホロコーストであり、毒ガスより悪質な兵器」の強いアピール

核戦力廃絶に向けた強い意志と世界への発信

戦艦はなくなった 空母・巡航ミサイルの廃止と兵器輸出の禁止の提案

(3) 非核重武装により侵略者を徹底排除できる国へ

戦争直後の理想国家はスイスだった ヒトラーも諦めた重武装 国民皆兵・大地下要塞
徒手空拳では何もできない 財力・文化力に気力・腕力が必要

「核装備はいつでも可能だが、被爆国のアイデンティティ保持のため核武装放棄」宣言
テロ戦争では核戦力は使えない

国民の財産・生命を守るのは主権独立国家の権利であり政府の責務である

5、安全保障体制

(1) 当面の対応ー国防費の削減

戦えない軍隊に武器は不要 装備予算を凍結し、まず不況対策費へ
戦争可能な軍隊にふさわしい士気向上教育と、訓練の強化

(2) 憲法改正と国防

9条を改正し武力行使可能とし、徹底した**侵略者排除可能の国防軍を建設する**
不況対策に回した予算を戻し、増加させ、海空軍充実（場合によってはミサイル軍も）
徴兵制施行で軍隊のみならず国土改造・技術開発も 遊民の溜まり場大学の淘汰
戦える軍事をバックに持つことにより、はじめて主体性ある外交が可能となる
畏敬される実力を備えた対等な姿勢での話し合いのみが 真の友好関係を保ち
お互いに有効な同盟を結ぶことができる

アジアブロックの共栄は日韓中の時間をかけた段階的連携強化が必要 遠交近攻の克服

6、日本に相応しい世界貢献はエネルギー開発

100億の人口を養うための新エネルギーの開発は、人類に取り喫緊の課題
豊かな社会は人口減少に向かわせる 世界平和のカギはここに存する
石油・天然ガスは今世紀半ばには価格高騰を伴ってエネルギーの主役から退場する
単位エネルギー当たり炭酸ガス負荷の大きい石炭の使用を抑えるために

再生可能エネルギーの開発は不可欠

世界から狙われている日本の先端研究への期待
宇宙太陽光発電・宇宙伝送技術・核融合など
世界に負けない国家戦略構想と予算の裏付けが必要

かくして再び世界のトップランナーへ